



軽トラックに家財などを積み、昭和の森公園の避難所から統合避難所に移ってきた男性(左)。市職員が荷物運びを手伝った＝3日午前9時26分、長野市吉田

統合避難所 スタート

台風19号災害を受けて長野市が設けた指定避難所8カ所の閉鎖のめどとなっていた3日、長野運動公園総合体育館に開いた「統合避難所」の運営が始まった。避難所にいた大半の避難者が応急仮設住宅に引っ越しなどし、統合避難所には同日午後5時現在で27世帯59人が移動。市は5カ所の避難所

台風災害 長野市教委「行き先未定世帯解消」

を閉鎖した。一方、市教育委員会は同日、避難所を出た後の行き先が未定だった世帯が解消されたと明らかにした。

【関連記事2・26面に】

この日は、朝から荷物を手にした避難者が姿を見せ、段ボールや布団などを黙々と運び込んだ。市職員らも支援物資を搬入。夕方からは仕事や学校を終えた家族連れの姿もみられ、作業は夜まで続いた。

市教委総務課によると、市内の避難者は2日朝時点で指定避難所8カ所と福祉避難所1カ所の計106世帯235人。統合避難所に移るのは、自宅の応急修理を待つ世帯や、借り上げ型応急仮設住宅（みなし仮設住宅）のクリーニングを待つ世帯などと考えられる。

一方、11月23日時点で行き先未定だった25世帯は、仮設住宅などへの入居を決定。入居までの仮住まいの位置付けの統合避難所の閉鎖のめどは20日としている。

避難者のうち指定避難所の豊野西児童センターにいる5世帯は、帰宅予定の美濃和田団地（豊野町）の修繕が間もなく終わる予定のため、特例的に同センターに残る。信州新町で地滑りの危険から教職員住宅や市営住宅に避難していた2世帯は3日までに、それぞれ避難先としていた住宅に入居した。

災害時「通れた」道 ネットで迅速公開

トヨタとホンダ 安全走行狙い

台風や地震などの大規模災害が起きた際、車に搭載した通信機器を使い、実際に走行できた道路を迅速に反映した地図が活用されている。トヨタ自動車とホンダがホームページなどで公開している。崖にわたった2011年の東日本

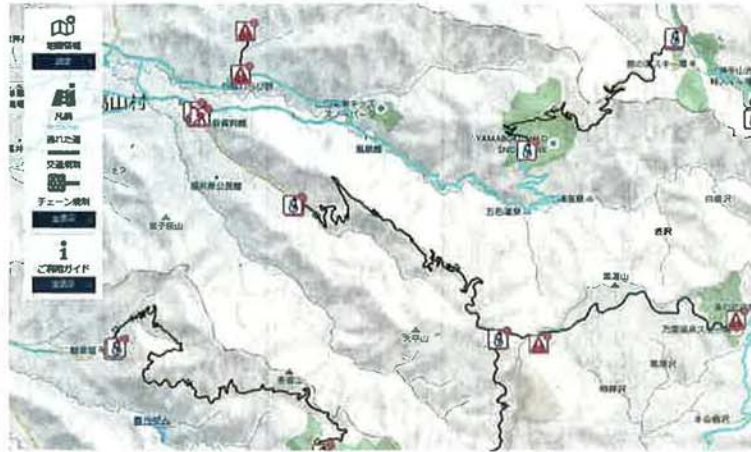
TOYOTA

通れた道マップ

災害発生時の安全な走行のために

お知らせ

台風19号による豪雨災害への対応に伴う表示エリア変更を終了しました。現在は、通行実績、交通規制情報を表示しています。



実際に走行している車に搭載した通信機器を使い、走行可能な道路を地図に反映したトヨタ自動車の「通れた道マップ」(トヨタ自動車のHPから)

本大震災の直後から「通れた道マップ」の公開を始めた。専用の通信機器を搭載する一般ユーザーのトヨタ車から収集した走行データや、交通規制の情報を踏まえ、通行可能な一定規模以上の道路を色づけて、地図上に即時に反映させている。

行政にとっても、災害時の道路被害の確認はパトロールによる目視で行われるため、迅速な把握は難しい。16年の熊本地震の際は、通れた道マップの1カ月間のアクセスは100万件に上った。

東日本で大きな被害が出た今年10月の台風では、道路の冠水で車が水没し死者も出た。トヨタは今後、車に付けたカメラの映像の分析を基に、冠水情報もマップに表示したい考えた。

ホンダもグーグルマップやヤフー地図に、通行実績の情報を提供している。グーグルマップには災害後の一定期間、ホンダ車の1日分の走行実績が翌日に反映され、通行可能な道が分かるよう色づけされる。高速道路や国道など大きな道に加え、細かい生活道路の状況も確認できるとい